

1 学習指導に当たって

本単元は社会科のまとめとして位置付けられている。今後の指導に当たっては、「社会的な見方・考え方」を働かせて課題を探究し、自分の考えを説明、論述し、これから社会参画をしていくための手がかりを得ることが大切である。単元の学習計画を生徒と共に確認しながら学習に入ること、現代社会の課題を自分事として考察できるようにすることが大切である。そして、生徒同士の協議や発表会といった言語活動を充実させることで「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るために、適切かつ十分な授業時数（6～8時間程度）を配当することが必要である。

指導例

持続可能な社会の形成者の視点から、社会の課題について考察しまとめさせる指導
～単元名「より良い社会を目指して」（第3学年）～

【指導の流れ】

1 3分野で学習した内容を振り返り、現代の日本社会が抱える課題について挙げさせる。

学習活動 現代の日本社会の課題について、個人で付箋に書いた後、グループで情報を整理する。



現在の日本が抱えている課題にはどんなものがあったらう。5つのテーマについて、これまでの社会科の学習を振り返り、できるだけたくさん書き出してみよう。

ポイント 5つのテーマ「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に沿って課題を整理させる。ICTを活用して効率的に情報共有させる。



地理では環境問題や災害、過疎や第一次産業の後継者不足について調べたね。

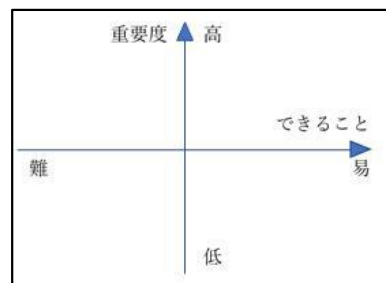
外交やグローバル化の課題は歴史でも公民でも勉強したね。



公民の学習では少子高齢化や人権を守るための取組、投票率の低下、多文化共生について勉強したよね。

付箋を「持続可能な社会を築くための重要度」と「私たちにできること」の観点から、座標軸上に整理しましょう。

【座標軸の整理】



「持続可能な社会を築くために、私たちにできることは何でしょう。」座標軸を基に、探究課題を設定しましょう。

ポイント 生徒一人一人の探究課題と課題設定の理由を、ICTを活用して学級全体で共有させる。生徒に見通しをもたせるために、発表会に向けた計画書を作成させる。

【課題設定の理由】

（スプレッドシート等で共有）

名前	探究課題	課題設定の理由
Aさん	地球にやさしいエネルギー	地球温暖化問題を解決するために、再生可能エネルギーの発電割合を高めたいから。
Bさん	ヒロシマの願いを世界に	世界中の人が平和への願いを共有できる未来が持続可能な未来だと思うから。
Cさん	日本にできる災害対策	被害を想定してどのように対処するかを考える「減災」について調べたいから。

【探究の計画書】（例：Cさんが作成した計画書）

探究課題	日本にできる災害対策
課題設定の理由	被害を想定してどのように対処するかを考える「減災」について調べたいから。
提案	(1)アプリを活用した避難訓練の導入 (2)災害に強い暮らしづくり (3)再生可能エネルギーの技術革新
探究の方法・資料	・(1)～(3)に実際に取り組んでいる自治体の資料（インターネット検索） ・その自治体へのインタビュー（電話、オンライン）など
まとめ方	(1)～(3)ごとに四コマ漫画にまとめる。
スケジュール	・資料収集（文献、ネット、インタビュー）：3～4時間 ・考察、中間発表：2時間 ・漫画作成・発表会：2時間

2 資料を収集させる。

学習活動 教科書や図書館の文献調査、聞き取り調査やインターネットで資料を集める。



調査を進めるためには、どのような資料が必要でしょうか。地理や歴史の学習で身近な地域の調査をした時を振り返り、適切な方法で資料を集めましょう。

ポイント 地理や歴史の見方・考え方を生かし、「(何を、何と、いつと) 比べるか」「共通点と相違点」等を、資料収集の観点として生徒に確認させる。

インターネットで情報を集める場合には、情報元は信頼できるのか、最新の情報なのかについて、複数の資料を検討して判断させる。

3 考察を進め、課題解決に向けた提案を構想させる。

学習活動 探究課題について、さまざまな立場や見方・考え方に着目して考察し、課題解決のための自分の意見を提案する。



集めた資料を基に、「課題解決のために私たちにはどのようなことができるのか、どのような行動をすべきなのか」の提案を構想しましょう。その際「対立と合意」「効率と公正」「自助・共助・公助」の視点でも検討してみましょう。

ポイント 同じテーマを選んだ生徒で集まって中間発表会を開催する。提案の実効性について、「対立と合意」「効率と公正」「自助・共助・公助」の視点から生徒同士で提案を見直す機会を設けさせる。



効率と公正に問題はないかな。
この提案を実行した場合、課題はどの程度解決できそうかな。



何かの犠牲や、誰かの我慢によって成立する取組になっていないかな。

【評価シート】(スプレッドシート等で共有)

発表者 Cさん	探究課題：日本にできる災害対策	
	中間発表会	発表会
対立と合意	◎・○・△	◎・○・△
効率と公正	◎・○・△	◎・○・△
自助・共助・公助	◎・○・△	◎・○・△
感想・アドバイス		

4 構想をまとめた発表資料を作成させる。

学習活動 考察を基にして、発表資料を作成する。



みんなの意見も盛り込んだ構想をまとめましょう。発表方法はポスターやプレゼンテーション、四コマ漫画など、自分が最も表現しやすく伝えやすい方法を選びましょう。

ポイント 発表資料を作成する際は「探究課題」「課題設定の理由」「探究の方法」「探究の内容(調べて分かったこと)」「まとめ(構想したこと)」「参考資料」等をもとに、自由にまとめさせる。



適切な資料を根拠として示すことで、説得力がある発表にしたいね。

共通点や相違点を表すには、どの種類のグラフを使えば伝わりやすいかな。



5W1Hを意識することで、探究課題を設定した理由から提案まで、私の考えの流れが分かってもらえるように工夫したいな。

5 発表会を開き、生徒に互いの提案内容を評価させる。

学習活動 発表を通して新たな視点や課題に気づき、提案内容を改善する。

ポイント 中間発表会と同じ視点で評価することを、学級全体で確認させる。



友達からの評価を参考にして、この単元での自分の学習を振り返りましょう。

友達からの評価を聞いて、持続可能な社会を築くために今すぐ取り組めることと、もっと調査や工夫が必要なが分かりました。仲間と協力しながら、今すぐ取り組めることをさっそく始めたいです。

